

## 5. 自治会・町内会について

問18 自治会・町内会の活動について、あなたが知っているものはどれですか。  
(あてはまるものをすべて選んでください。)

1	防火防犯活動	768	47.7%
2	清掃などのまちの美化活動	620	38.5%
3	花壇設置などの環境整備活動	227	14.1%
4	資源回収・リサイクル活動	864	53.7%
5	交通安全活動	466	29.0%
6	子供会活動	779	48.4%
7	敬老会活動	710	44.1%
8	盆踊りや健民祭、スポーツ大会、旅行会などの 各種レクリエーション活動	1041	64.7%
9	防災活動	665	41.3%
10	ミニデイサービス等の福祉活動	221	13.7%
11	講習会・講演会・映画会など各種活動	304	18.9%
12	掲示板による情報提供	881	54.8%
13	会報の発行など地域情報の提供	742	46.1%
14	その他	33	2.1%
	無回答	126	7.8%

「自治会・町内会の活動で知っているもの」を質問したところ、「レクリエーション活動」が約65%、「掲示板による情報提供」「資源回収・リサイクル活動」が5割台で続き、「子供会活動」「防火防犯活動」「会報発行」「敬老会活動」「防災活動」などが4割台の認知状況であった。

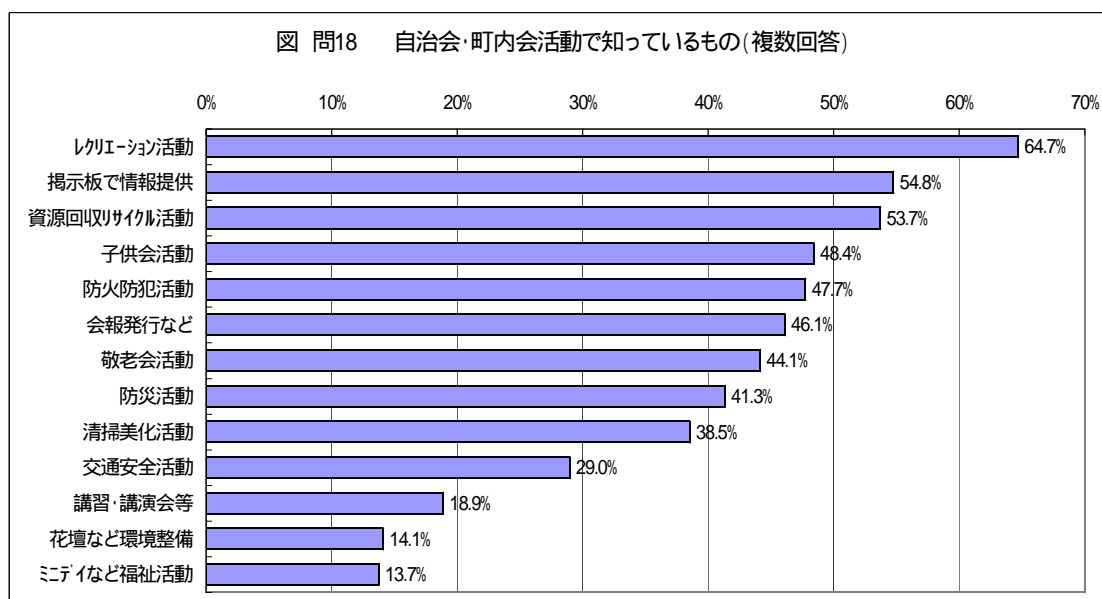


図 問 18 「知っている自治会・町内会の活動」(複数回答)  
(内容別・地域別・上位8項目)

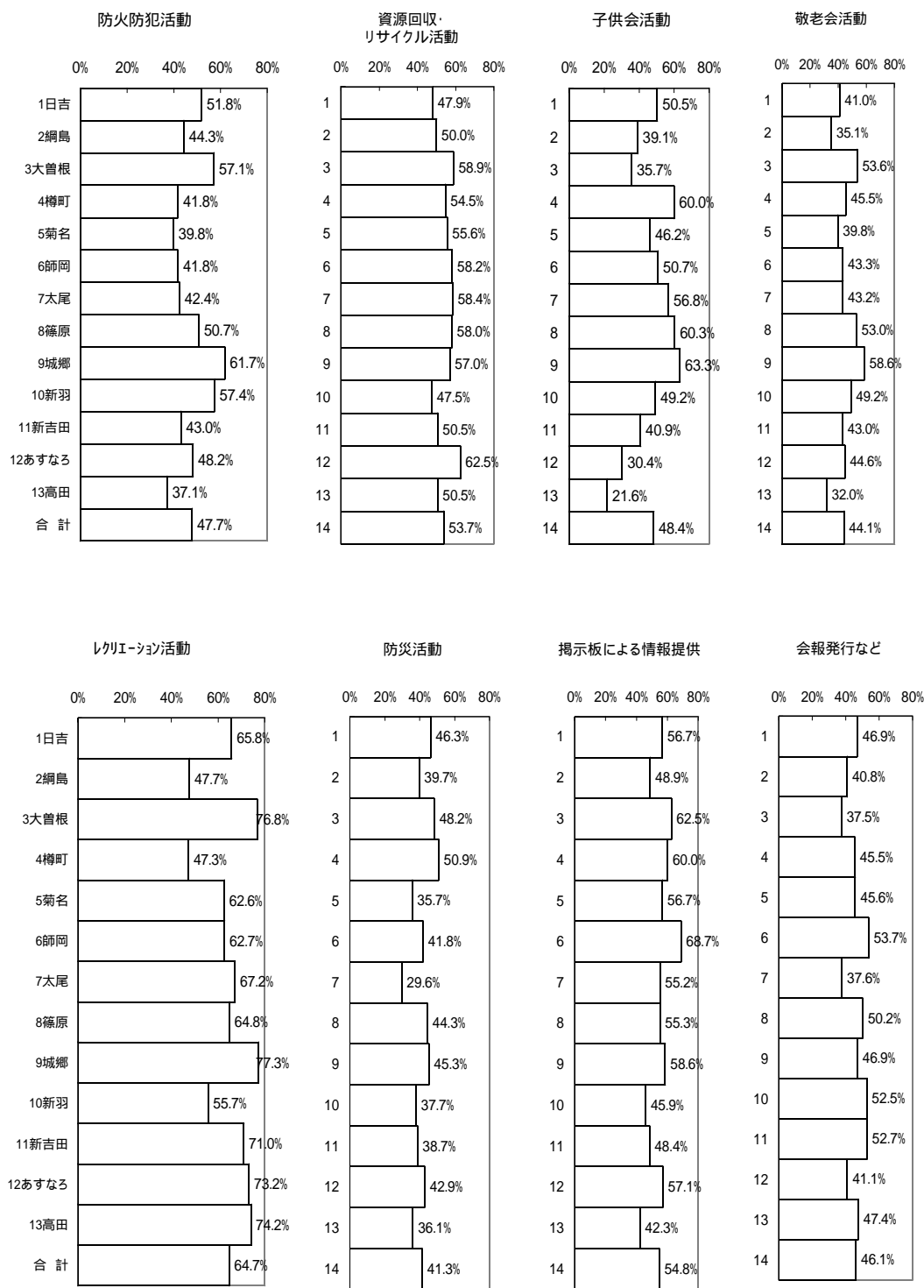


表 問18 「知っている自治会・町内会活動」の順位

	1位	2位	3位	4位	5位
日吉	レクリエーション活動 65.8%	掲示板情報提供 56.7%	防火防犯活動 51.8%	子供会活動 50.5%	資源回収 47.9%
綱島	資源回収 50.0%	掲示板情報提供 48.9%	レクリエーション活動 47.7%	防火防犯活動 44.3%	会報発行など 40.8%
大曽根	レクリエーション活動 76.8%	掲示板情報提供 62.5%	資源回収 58.9%	防火防犯活動 57.1%	敬老会活動 53.6%
樽町	清掃美化活動 63.6%	子供会活動 60.0%	掲示板情報提供 60.0%	資源回収 54.5%	防災活動 50.9%
菊名	レクリエーション活動 62.6%	掲示板情報提供 56.7%	資源回収 55.6%	子供会活動 46.2%	会報発行など 45.6%
師岡	掲示板情報提供 68.7%	レクリエーション活動 62.7%	資源回収 58.2%	会報発行など 53.7%	子供会活動 50.7%
太尾	レクリエーション活動 67.2%	資源回収 58.4%	子供会活動 56.8%	掲示板情報提供 55.2%	敬老会活動 43.2%
篠原	レクリエーション活動 64.8%	子供会活動 60.3%	資源回収 58.0%	掲示板情報提供 55.3%	敬老会活動 53.0%
城郷	レクリエーション活動 77.3%	子供会活動 63.3%	防火防犯活動 61.7%	敬老会活動 58.6%	掲示板情報提供 58.6%
新羽	防火防犯活動 57.4%	レクリエーション活動 55.7%	会報発行など 52.5%	子供会活動 49.2%	敬老会活動 49.2%
新吉田	レクリエーション活動 71.0%	会報発行など 52.7%	資源回収 50.5%	掲示板情報提供 48.4%	清掃美化活動 45.2%
新吉田あ すなろ	レクリエーション活動 73.2%	資源回収 62.5%	掲示板情報提供 57.1%	防火防犯活動 48.2%	敬老会活動 44.6%
高田	レクリエーション活動 74.2%	清掃美化活動 52.6%	資源回収 50.5%	会報発行など 47.4%	掲示板情報提供 42.3%
合計	レクリエーション活動 64.7%	掲示板情報提供 54.8%	資源回収 53.7%	子供会活動 48.4%	防火防犯活動 47.7%

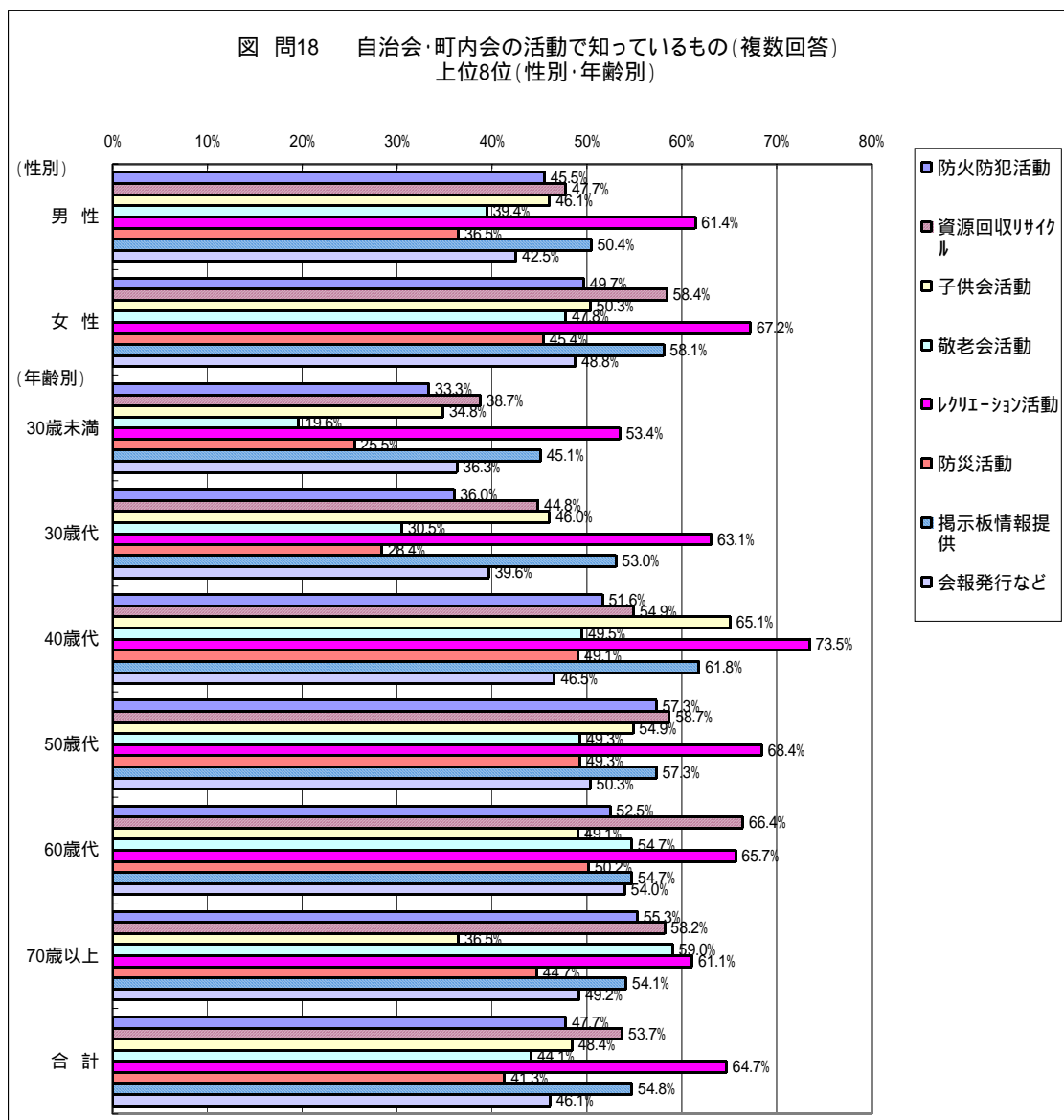
「自治会・町内会の活動で知っているもの」を地域別に見ると、それぞれの地域における活動内容をうかがうことができた。全体で1位は「レクリエーション活動」が6割を越えるの認知度であったが、綱島地区では「資源回収・リサイクル活動」が、樽町地区では「清掃美化活動」が、師岡地区では「掲示板による情報提供」が、新羽地区では「防火防犯活動」が1位となっていた。

2位は全体では「掲示板による情報提供」であるが、樽町、篠原、城郷地区では「子供会活動」が、太尾、新吉田あすなろ地区では「資源回収・リサイクル活動」が、高田地区では「清掃美化活動」が2番目にきていた。3位は全体では「資源回収・リサイクル活動」であったが、日吉、城郷地区では「防火防犯活動」が、太尾地区では「子供会活動」が、新羽地区では「会報発行など」が3番目に入り、その他の地区では1, 2位に入らなかった「レクリエーション活動」「掲示板による情報提供」が2, 3位に入っていた。

回答者の属性で見ると、性別では、女性が男性よりも全体的に各活動内容についての認知度が上回っており、「資源回収・リサイクル活動」では10.7ポイント、「防犯活動」で9ポイント「敬老活動」で8ポイント高くなっていた。

年齢別で見ると、「30歳未満」の層での認知度が極端に低く、1位の「レクリエーション活動」でも53.4%と平均を10ポイントも下回っていた。年齢が上がるにしたがって認知度が高まり、「50～60歳代」では、全体で知っている割合が多かった「レクリエーション活動」「掲示板による情報提供」「資源回収・リサイクル」など8項目についてみると全体を大きく上回りほぼ5割以上の認知度となっていた。また「40歳代」では「レクリエーション活動」が平均より12ポイント、「子供会活動」で29ポイントなどが高くなっているのが特徴的であった。

図 問18 自治会・町内会の活動で知っているもの(複数回答)  
上位8位(性別・年齢別)



問19 あなたは自治会町内会に加入していますか？

1	はい	1141	70.9%
2	いいえ	446	27.7%
	無回答	22	1.4%

問19-1「1 はい」と答えた方にお尋ねします。それはどのような理由からですか。(あてはまるものを3つまで選んでください。) 回答者数 1141

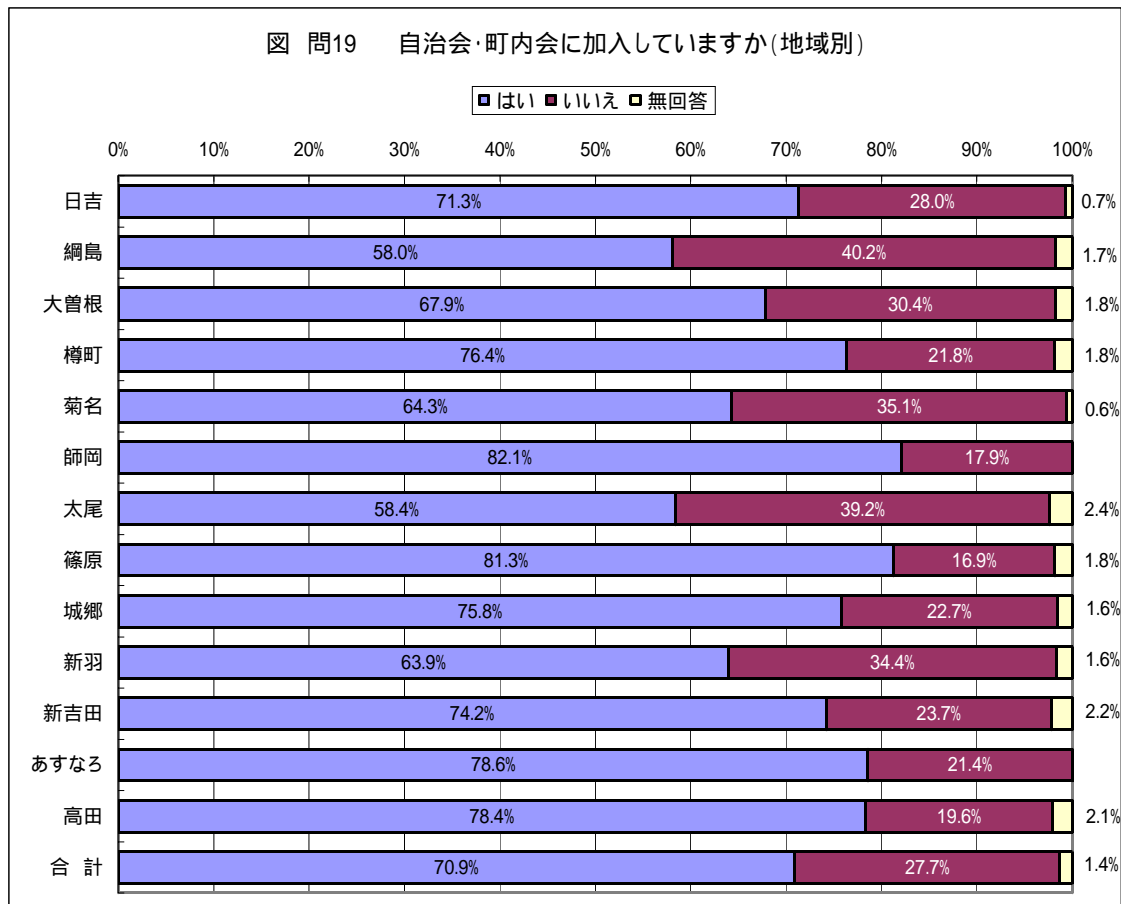
1	地域の人とのふれあいが楽しいから	133	11.7%
2	地域の必要な情報を得ることが出来るから	536	47.0%
3	暮らしやすい地域づくりに必要だと思うから	448	39.3%
4	地域の活動・行事に参加したいから	78	6.8%
5	町内会・自治会への加入は義務と考えているから	664	58.2%
6	加入の誘いがあったから	114	10.0%
7	入居するマンション等集合住宅のきまりだから	306	26.8%
8	まわりの人も加入しており、なんとなく	132	11.6%
9	加入しないと近所づきあいが難しくなるか	141	12.4%
	無回答	11	1.0%

問19-2「2 いいえ」と答えた方にお尋ねします。それはどのような理由からですか。(あてはまるものを3つまで選んでください。) 回答者数 446

1	町内会の活動がよく分からないから	209	46.9%
2	魅力ある活動をしていないから	33	7.4%
3	必要とされる情報が得られないから	50	11.2%
4	会費が高いから	4	0.9%
5	加入して活動する時間がないから	180	40.4%
6	加入する必要性を感じないから	96	21.5%
7	近所づきあいがわずらわしいから	36	8.1%
8	役員になるのが重荷だから	43	9.6%
9	マンション管理組合など別の組織に加入しているから	86	19.3%
10	加入方法がよくわからないから	151	33.9%
	無回答	18	4.0%

問19では、「自治会・町内会への加入」の有無について質問した。加入の有無に対し、「はい」と答えた割合は70.9%であり、「いいえ」は27.7%となっていた。

地域別に見るとかなりの差異が見られた。加入の割合が最も高かったのは師岡地区で、篠原地区がこれに続きいずれも8割を超え平均を10ポイント以上上回っており、新吉田あすなる、高田地区が78%台でこれに続いていた。加入の割合が低い方では、綱島、太尾地区の順で6割を切っており、新羽、菊名地区がともに約64%で続いていた。



回答者の属性で見ると、性別ではほとんど差がなかったが、年齢別で見ると大きな差が見られる。「30歳未満」では6割近い人が「いいえ」加入していないと答え、「30歳代」では加入している人が53.0%と半数を超えて平均を大きく下回っていた。以降、年齢が上がるにしたがって加入の割合が高まり、「70歳以上」では88.5%で9割近くになっていた。

住居の形態別で見ると、「持ち家・一戸建て」では加入の割合が87.4%で9割近くと最も高かったが、「持ち家・マンション」になると加入の割合が平均以下の69.2%に下がり、「賃貸・マンション」になると逆に加入していない割合が59.4%と6割近くになっていた。

居住歴別で見ると、「3年未満」では加入していない割合が52.2%で半数以上となっており、「3～5年」で加入の割合が56.3%で半数を超え、「20年以上」では加入の割合が89.9%でほぼ9割となり、居住歴が長くなるにつれて加入の割合が高くなる傾向を明確に見ることができた。

家族構成別では、「ひとり暮らし」が加入していない割合が52.3%で半数を超え、逆に「夫婦だけ」71.5%、「2世代」75.3%、「3世代」79.4%と加入者の割合が7割を越え増えていった。

子供の年齢別では、加入している割合が「3歳以下」59.9%「4～6歳」75.3%、「7～12歳」82.0%と、年齢が大きくなるに従って加入の割合が高まり、「子供はいない」層は49.7

%と加入が低くなっていた。

就労状況別では、「学生」が加入していない割合が 51.5 %と半数を越えており、「会社員・公務員」のサラリーマン層が加入している割合が 61.3 %と平均を 10 ポイント以上下回っていたのが目についた。「専業主婦」「就労していない」では 80.5 %と 84.5 %で平均より 10 ~ 15 ポイント近く高くなっていた。

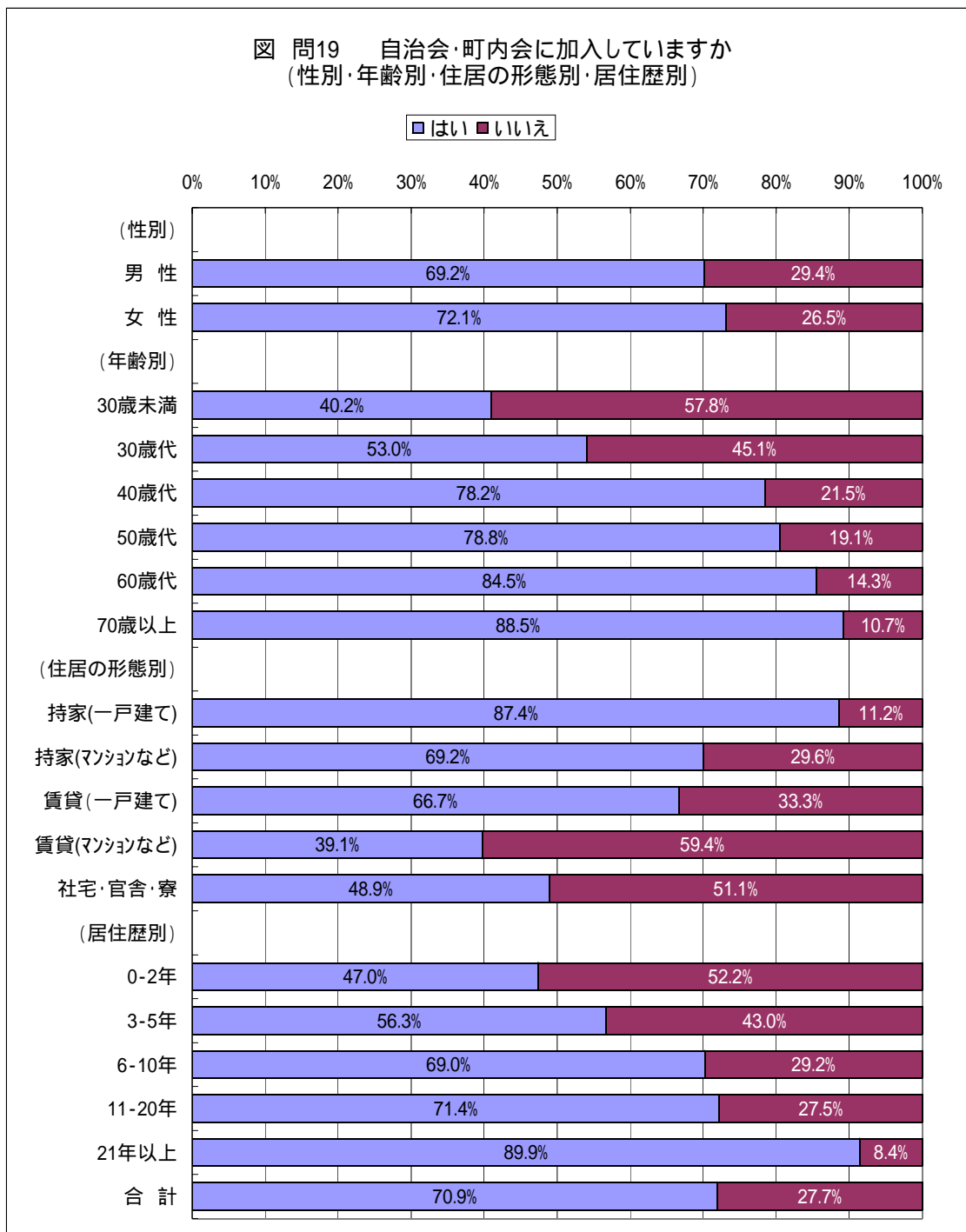
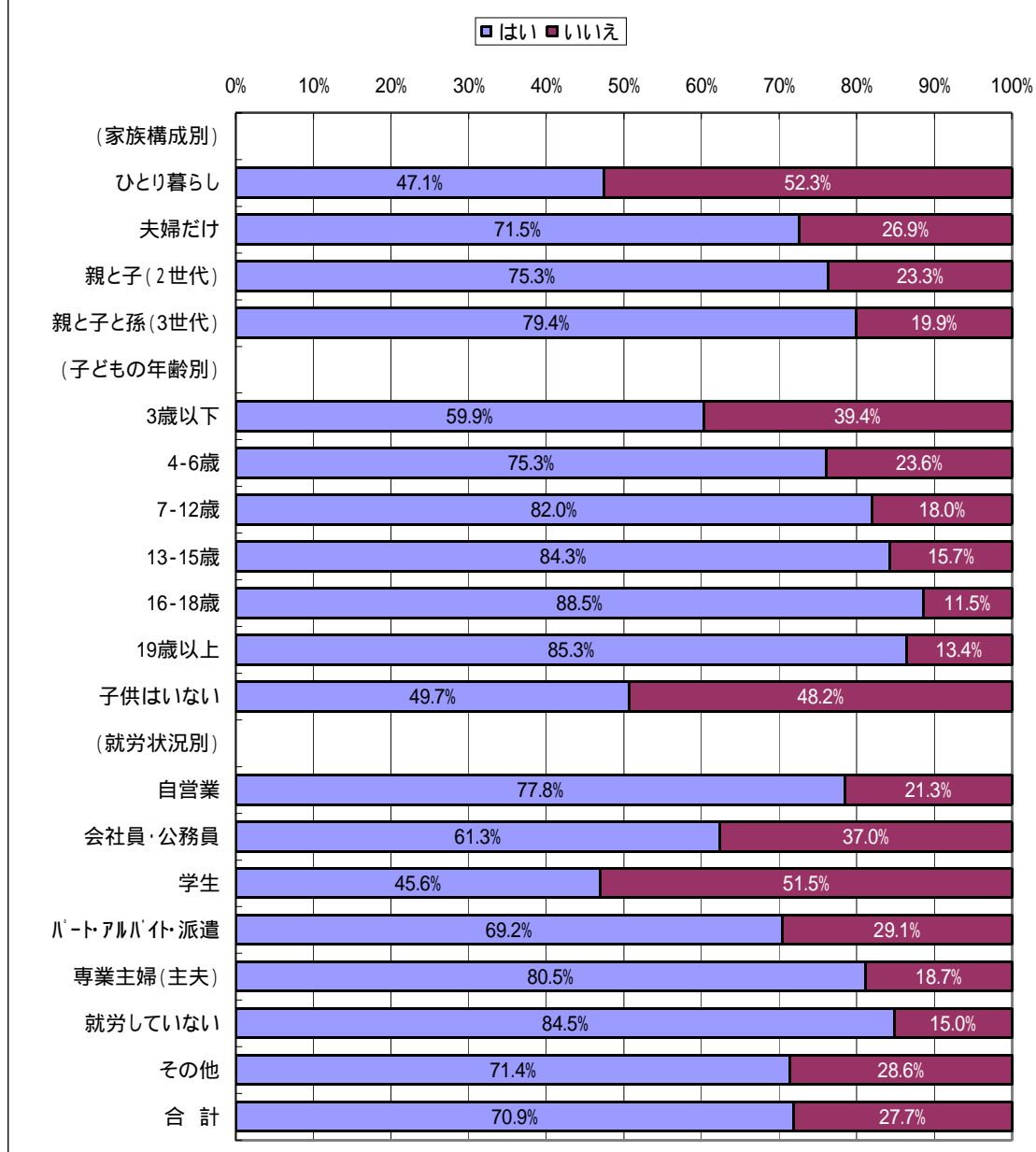


図 問19 自治会・町内会に加入していますか  
(家族構成別・子どもの年齢別・就労状況別)



問 19 で、自治会・町内会に加入している人に「加入している理由」を、加入していない人に「加入していない理由」を質問した。

加入している理由は、「加入は義務だと考える」とする人が 58.2 %と6割近くで最も多く、「地域の情報が得られる」47.0 %「暮らしやすい地域づくりに必要」39.3 %、そして「集合住宅の決まり」26.8 %と続いており、義務的に加入している層が多かった。

加入していない理由は、「活動内容が分からない」が 46.9 %で半数近く、「活動する時間がない」がほぼ4割、「加入方法が分からない」が約3分の1、「必要性を感じない」が約2割、「別の組織に加入」が2割弱となっていた。



図 問19-1 自治会・町内会に加入している理由(選択数3)

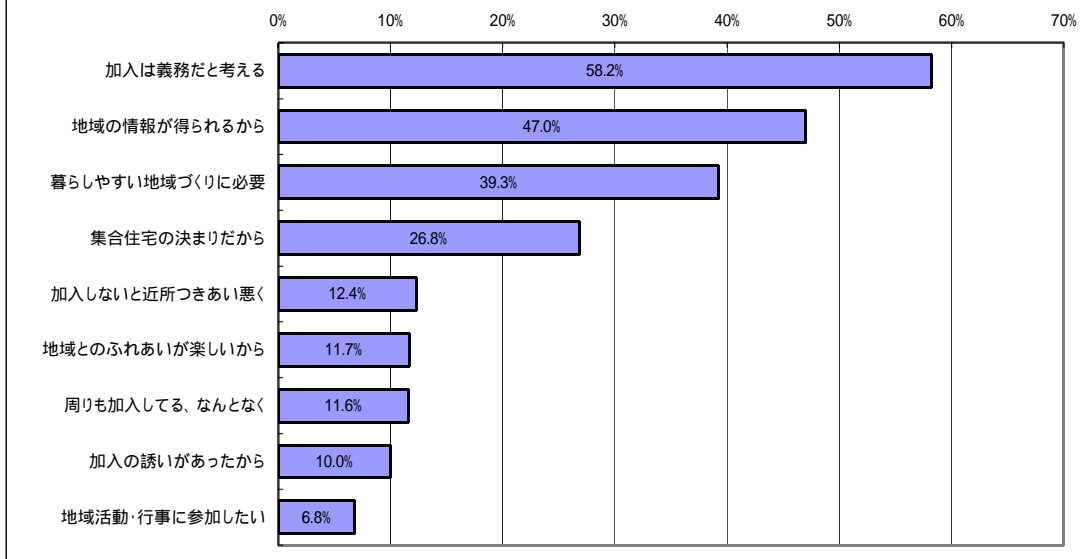
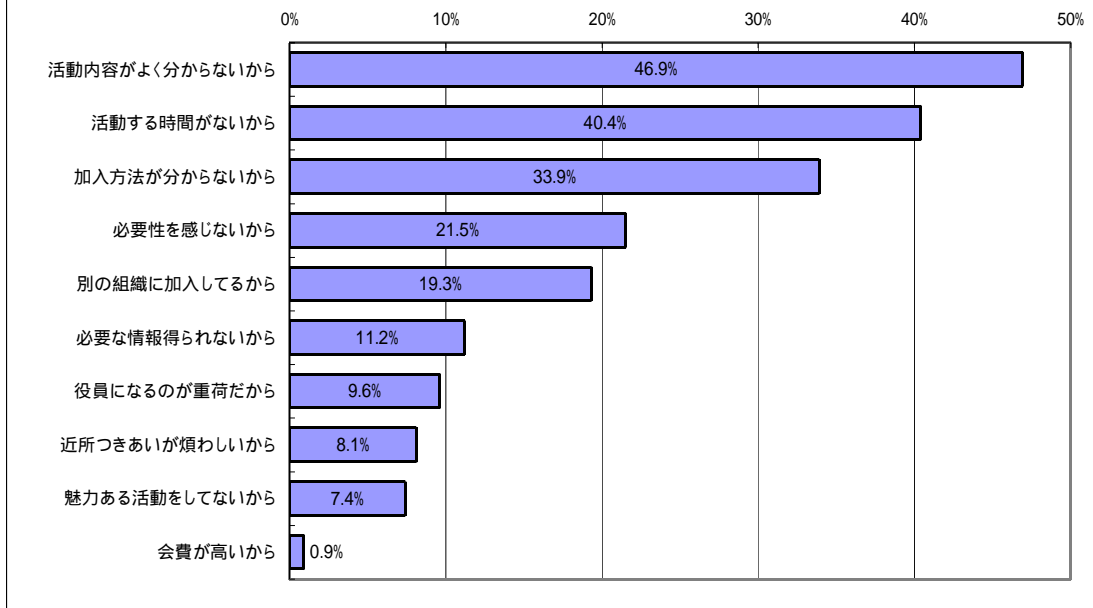


図 問19-2 自治会・町内会に加入しない理由(選択数3)



問 18 の「自治会・町内会活動について知っているもの」と、問 19 の「自治会・町内会への加入」の有無についてクロス集計し、加入の有無による認知度の違いを見た。全体での認知度の高かった 8 項目についてみると、「レクリエーション活動」については自治会・町内会の加入している人としていないと答えた人では「加入している」人の方が 28 ポイント高く、「掲示板による情報提供」では 18 ポイント、「資源回収・リサイクル活動」では 24 ポイント、「子供会活動」では 28 ポイント高いという差が見られた。また、「防火防犯活動」では実に 36 ポイントの差があり、加入していない人はこの活動を知っている割合が 2 割弱と極めて低かった。自治会・町内会への加入の有無によって、自治会・町内会活動への認識の差が極めて大きくなっていることが明らかになっていた。

